

通所リハビリ稼働率アップを目指して ～稼働向上に向けた取組～

医療法人社団 珠泉会

介護老人保健施設 ウイング

発表者 小林 学

共同研究者 東 大地

池上 孝志

平成11年11月1日開設

入所定員：140名

一般棟 50床2棟

認知症専門棟 40床1棟

通所定員：40名

介護老人保健施設
ウイング



組織理念

「人と社会のケアを通じて、

健やかな未来社会を創造する」

9330



ウイング



68-52

はじめに

平成26年6月から同年12月までの

平均稼働率56.74%

低迷の要因⇒営業活動の不十分

営業計画立案の不十分が考えられた。

平成27年1月より、営業活動、加えて新規相談に対する対応方法を見直し、稼働率向上を目指すこととした。

営業活動について

改善活動

- ①毎月近隣の居宅25件を訪問+新規居宅への営業
- ②地域や行政主催の会議、会合への参加
- ③営業ネタを3ヶ月に一度内容を更新、同じ内容のものを3ヶ月持参しウイング通所リハの印象を与える

柔軟な受入体制の構築

改善活動

- ①誰でも即答できるように空き状況を共有する
- ②車椅子枠を確保するため、可能な利用者は車椅子ではなく、座席に座っていただく
- ③送迎ルート、座席変更について協議
- ④マイクロバス⇒キャラバン（バンタイプ）に変更
- ⑤軽自動車を福祉車両タイプに変更
- ⑥競合先が対応していない地域への受入体制の構築
- ⑦利用見学时、多職種で見学

☆結果☆

☆問い合わせ件数

平成26年度 80件

平成27年度 85件

・・・営業強化するも大きな変化なし

しかし・・・

☆問い合わせから新規利用までの割合は増加！

平成26年度 37.62%

平成27年度 51.51%

☆改善活動完了後の割合は、69.44%

☆結果☆

☆利用者登録者数

平成26年3月末時点・・・86名

平成27年3月末時点・・・109名

☆稼働率平均

平成26年度 56.74%

平成27年度 62.20%

※平成28年度については65%から70%を推移

考察

- 問い合わせ件数を増やすことはできなかった
- しかし、営業活動等を通じ、各居宅CMとの信頼関係の構築を図れた
- 迅速で柔軟な受け入れ対応で、新規利用開始者が増加した

おわりに

デイケア稼働率向上させるには・・・

- 居宅への営業活動だけでなく、医療機関への営業、地域社会への貢献が必要
- 問合せに対して常に迅速、柔軟な対応が必要
- 在宅復帰の取組を継続、強化することが必要



ご清聴ありがとうございました。